

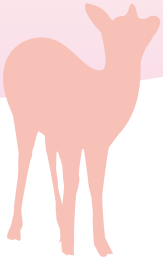


まほろばだより

2013
Autumn
vol.06

公立大学法人 奈良県立医科大学 女性研究者支援センター

第6号



Contents

- ④ 内閣府の「平成25年度 国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」に採択されました
- ④ ひらめき☆ときめきサイエンスが開催されました
- ④ 女性医師のための「第2回カフェJOYFUL」が開催されました
- ④ 循環器腎臓代謝内科の妹尾先生が日本循環器学会第1回近畿支部主催男女共同参画フォーラムで発表されました
- ④ 女性研究者支援・病児保育に関するアンケート報告書が完成しました
- ④ 医学科女子学生、女性教員の交流会の名称が決まりました
- ④ Information
- ④ 相談窓口のご案内
- ④ コミュニケーションスキルを学ぼう！第6回「メールの書き方」

Report 1

内閣府の「平成25年度 国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」に採択されました！

内閣府では連携会議構成団体との共催のもと、男女共同参画推進のためのさまざまな課題に関し、理解を深め解決策をともに考えるセミナーやシンポジウムが行われています。

この度、本センターの「女子中高生の医理系進路選択支援～医理系の研究って、すっごくおもしろい！～」の企画案が採択されました。

この取り組みは、女子中高生の医理系進路選択を促す目的のもと、本学で実際に行われている研究の実習を女子中高生に体験してもらおうと昨年度から女性研究者支援センターでイベントを実施してきたものです。

今回は、平成26年1月11日にシンポジウムを開催いたします。医学部の出身の先生方の基調講演・パネルディスカッション・サイエンスカフェの3部構成で、内容も盛りだくさんで行います！

女子中高生の医理系進路選択支援

～医理系の研究って、すっごくおもしろい！～

開催予定日：平成26年1月11日（土）

開催予定場所：奈良県文化会館小ホール

対象：女子中高生等 約250名

第1部 基調講演

「私の歩んできた道、そしてこれから」

第2部 パネルディスカッション

「女性が医理系分野で研究するには」

第3部 サイエンスカフェ

Report 2

ひらめき☆ときめきサイエンスが開催されました！

8月3日、4日のオープンキャンパスに合わせて産婦人科教室主催のひらめき☆ときめきサイエンスが開催されました。

女子高校生を対象に「命を創る子宮とそれを脅かす病～どうしたら病気にならないか～」というテーマで先生方の講義に加え、シュミレーション機器を用いて胎児超音波を見てエコー写真を撮影する体験や、顕微鏡で子宮に起こっている病気の細胞を見る実習も行いました。



本センターのコーディネーターである産婦人科教室の吉田先生の講義があったり、実習では、その他のコーディネーターの先生方も女子高校生に顕微鏡の使い方を指導していただきました。

参加した女子高校生の皆さんは、先生方の講義に真剣に耳を傾け、また実習でも一生懸命顕微鏡をのぞいてスケッチをしたり、エコー写真の撮影を行っていました。

≫ Report 3 女性医師のための「第2回カフェ JOYFULL」が開催されました

9月7日、奈良県（医師・看護師確保対策室）主催の女性医師を応援するための「カフェ JOYFULL」の第2回が県立奈良病院にて開催されました。県立奈良病院に勤務されている5名の女性医師の方々にご参加いただき、本学女性研究者支援センターコーディネーターの須崎先生と水野先生が司会とアドバイザーを務められ、ワークライフバランスをテーマに意見交換が行われました。参加された女性医師の方には、これまでのご自身のライフイベントや、ライフイベントの中で助かった支援、またあれば良いと思う支援についてお話しいただきました。全員が育児支援、とりわけ院内保育園の充実を望んでおり、本学のなかよし保育園の拡充に強い関心を持たれていました。

育児や介護を行いながら、臨床現場の第一線で働き続けることができるのは、病院と大学医局の同僚や先輩のおかげであると強い感謝の気持ちを持たれていました。医長として活躍されている先生から、無我夢中の数十年ではあったけれど、振り返るとあっという間で、中断せずにやり続けてよかったという言葉がありました。様々な年代の異なる境遇にある女性医師が集まり、意見交換することは、自分の生き方を見直すいいきっかけとなり、明日への仕事の意欲を充実させる取り組みと考えます。医師であることに誇りを抱き、悩みながらも歩み続ける女性医師に、今後もエールを送ることができる支援活動を行いたいと思います。



≫ Report 4 循環器・腎臓・代謝内科の妹尾先生が日本循環器学会第1回近畿支部主催男女共同参画フォーラムで発表されました！



循環器腎臓代謝内科大学院生の妹尾絢子と申します。この度平成25年6月15日国立京都国際会館にて、日本循環器学会第1回近畿支部主催男女共同参画フォーラムが開催され、「循環器医の仕事と子育てとの両立支援」のテーマで発表をさせていただきました。他に近畿圏の大学や病院から育児をしながら循環器医として仕事を続けてこられた先生6名が発表をされました。私自身、育児と仕事の両立をしていく上で困難に感じた事や、周囲の理解やサポートがあって医師として仕事を続けてこられた事、今後必要なサポートなどについてもお話をさせていただきました。奈良県立医科大学の女性研究者支援センター「まほろば」の取り組みについても紹介をさせていただきました。



循環器・腎臓・代謝内科 妹尾 絢子先生

妹尾先生には、フォーラム前にご連絡をいただき、有難いことに本センターの活動内容も紹介させていただきたいというお話をいただきました。循環器・腎臓・代謝内科では、多くの女性医師の先生方が活躍されています。医局ホームページでも女性医師の声を掲載するなど、皆が働きやすい環境づくりに努めておられます。

≫ Report 5 「女性研究者研究活動支援に関するアンケート」「病児保育に関するアンケート」報告書が完成しました！

平成25年3月に大学および附属病院の全教職員を対象に実施した女性研究者研究活動支援に関するアンケートと病児保育に関するアンケートの報告書が完成しました。ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

報告書は各所属宛てに配布しています。また、図書館にも常時置いてありますので手にとってご覧ください。



≫ Report 6 医学科女子学生・女性教員の交流会の名称が決まりました！



女子学生・研修医・女性教員による交流会の名前が「joy En 女医 Cafe」に決まりました。医師や研究者になって働きだしても、やはり女性が少ない職場が多くあります。この交流会は、女性に年代を問わず参加してもらい、皆で気軽に情報交換をする機会を設けようという企画したものです。

前回は、専門の科を選んだ理由や医局ってどんな所？実際医師として働いて結婚・出産はどうしたらいい？など様々な質問や経験談が飛び交いました。

10月18日に第2回を開催する予定ですので、みなさん是非ご参加ください！

≫ Information 1 講演会を開催します！



- 日時：平成25年10月7日（月）17:00～
 場所：奈良県立医科大学 蔵書館3階 大ホール
 対象：本学および附属病院の教職員、学生、一般
- 17:00 開会・挨拶 吉岡 章学長
 - 17:15 日本の未来をつくる男女共同参画 講師 中央大学 文学部 教授 山田 昌弘先生
 - 18:00 子どもが病気になったとき～病児保育の実施に向けて～ 女性研究者支援センター 御輿 久美子マネージャー
 - 18:30 総合討論
 - 19:00 閉会・挨拶 喜多 英二センター長

≫ Information 2 女子学生、女性医師との交流会を開催します！



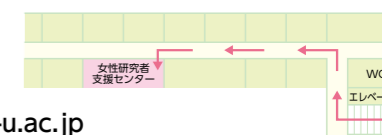
- 日時：平成25年10月18日（金）17:00～
 場所：基礎医学校舎5階 会議室
 対象：医学科女子学生・女性研修医・女性医員・女性教員
 （本学出身以外の先生方も大歓迎です！）

将来仕事を続けていけるか不安…、女性研究者ってどんなことをしてるの？知りたいけど、なかなかそんな機会がない…という女子学生のみなさんのために、実際に女性医師・研究者として活躍されている先生方とお話する機会をつくりました。年代を問わず皆で気軽に情報交換をするチャンスです！ぜひご参加ください！

相談窓口のご案内

女性研究者支援センター「まほろば」では、本学および附属病院の構成員の方であれば、どなたでもご相談を受け付けております。男女や職種、常勤・非常勤など関係なく、ハラスメントや人間関係等で悩んでおられる方は一人で抱え込まず、ご相談ください。まずは支援センターのマネージャーが相談に応じます。状況に応じて心理相談員とも面談を行い、必要な支援を一緒にお探し、解決を図ります。相談の際のプライバシーは必ず守られますので、ご安心下さい。

ご相談は、電話やメールで随時受け付けております。
 女性研究者支援センター「まほろば」基礎医学校舎5階
 TEL: 0744-23-8011 (直通) E-mail: jshien@narmed-u.ac.jp



第6回 『メールの書き方』

仕事上でのメールのやりとりは多いと思います。メールはとても便利な手段ですが、一つ間違えると大きな問題になり兼ねません。今回はメールの書き方についてご紹介します。

メールのやりとりですべきでないこと

議論や注意、批判など

否定的なことが含まれる内容のやりとり

メールは相手の表情や声分からない分、自分自身では正しいメールを送ったつもりでも、相手の人が全く同じように解釈するとは限りません。

文字だけになると、ちょっとした注意のつもりでも、相手にはとてもきつい言い方にとられる場合もあります。



緊急で大事な連絡をメールだけで済ませない

緊急ですぐに確認してもらいたいことや、大事な連絡事項をメールだけで済ませることは非常に危険です。メールを送ったらそれで終わりではなく、送信後に併せて電話でも連絡し、簡単に用件を伝えてメールの確認のお願いをしましょう。もちろん、内容によっては、メールではなく直接会って話すべきこともありますので、相手に伝える手段はきちんと判断しましょう。



メールの書き方チェック

件名

用件が分かるように件名を入れる 「〇〇について」、「〇〇の送付」 など

宛名

〇〇大学〇〇教室〇〇先生、〇〇株式会社〇〇部〇〇課〇〇様

本文

初めてメールを送る相手には自己紹介を入れる 「〇〇大学の〇〇と申します。」
きちんとした言葉遣いになっているか、命令口調などになっていないか確認する

添付ファイル

資料やデータファイルなど添付している場合には、本文で添付している旨を伝える



直接会って話す時や電話で話す時には、表情や声のトーンでカバーされるため、相手の喜怒哀楽も分かります。メールは文字だけの伝達手段になるので、メールを受け取って読んだ時に相手はどう感じるかを考えてメールのやりとりを行いましょう。

[編集後記]

先日、大学近くで本学の学生さんが自分たちで町屋を改装して食堂「はる」をオープンされました。センターのスタッフでプレオープンにお邪魔させていただきました。とっても美味しくて、一生懸命働いている学生さんの姿が素敵でした。皆さんも是非一度行ってみてください！

[編集・発行]

奈良県立医科大学 女性研究者支援センター「まほろば」
〒634-8521 奈良県橿原市四条町840
奈良県立医科大学 基礎医学学校舎5階
TEL：0744-23-8011(直通)0744-22-3051(代)内線：2525
E-mail：jshien@naramed-u.ac.jp

